

海外安全対策情報（2025年4月～6月）

1 社会・治安情勢

(1) 最近のパキスタン情勢

2025年4月、インドのジャンムー・カシミールで観光客を狙った銃撃テロが発生し、インド政府はパキスタン支援の武装勢力による犯行と非難した。これをうけて、インドは、パキスタン統治下のカシミール地域

(PoK)にあるインド側のテロ拠点と目した施設を空爆し、「オペレーション・シンドウール」を実施。両国間では、その後数日間に及び軍事衝突が発生したが、米の仲介により5月10日に一時停戦が実現。しかしながら、停戦合意はないまま緊張状態は現在も継続中である。

(2) テロ等の傾向

ア 2024年中、パキスタンでは521件（2023年306件）のテロが発生し4年連続の増加となった。パキスタンのテロ発生件数は、軍及び治安機関等によるテロリスト掃討作戦により2009年以降減少傾向にあったものの、2021年以降増加傾向にある。2021年に隣国アフガニスタンの首都カブールが陥落して以降、地域情勢は不安定化しパキスタンにも大きな影響が及んでいる。

イ 4月のテロ発生件数は40件であった。テロにより47人が死亡し77人が負傷した。

5月のテロ発生件数は46件であった。テロにより70人が死亡し111人が負傷した。

6月のテロ発生件数は63件であった。テロにより72人が死亡し、95人が負傷した。

テロ発生件数（2025年1月～3月期）から55件減少（204件→149件）し、死者は209人減少（398人→189人）、負傷者は158人減少（441人→283人）した。

ウ 今期においては、即席爆破装置（IED）攻撃や銃撃が主要なテロの手段であり、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設を標的と公言している勢力もある。

エ 都市部や地方の別に関わらず、治安当局によるテロリストの拘束及び武器・弾薬等の押収が多く確認された。治安当局による精力的な取締りが行われているが、依然としてイスラマバード首都圏を含めた都市部においてもテロの脅威は存在している。

(3) 各種デモ

当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による様々なデモが行われる傾向にあり、デモ参加者の行動がエスカレートし一部が暴徒化することもある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 銃器使用犯罪

今期においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵入強盗事件が頻発している。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの、違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず、違法銃器のまん延が問題となっている。

(2) その他

今期においても連日、違法な銃器・爆発物・薬物の押収事案が報じられた。

なお、以下についても引き続き注意が必要である。

ア 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバード首都圏は富裕層が多く居住しており、各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが、これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に加担する事件が時折発生している。また、家主の不在の間に家屋に侵入し、金品を窃取する事件が発生しているため、在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか、使用人、警備員等への指導を徹底する必要がある。

イ 名誉殺人

当地では地方を中心に、親が認めない相手との交際などで、家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される、所謂名誉殺人が後を絶たない。今なお保守的なパキスタン社会では、毎年多くの女性が名誉殺人の犠牲になっており、凄惨な殺害事件も発生している。また、当地では親同士が本人の意思と関係なく決めた相手と結婚させるのが都市部でさえ一般的であり、それに起因するトラブルで結婚相手やその家族・親族等からのDV被害も深刻な問題となっている。

ウ 性犯罪及び虐待

当地では、婦女暴行を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され、その発生件数は非常に多く、性犯罪は増加傾向にあると報じられている。同種事件の被害者は、二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことが多く、被害実態は正確に把握できない。被害者の年齢及び性別は多様で特に子どもをターゲットにした極めて悪質な犯行も多く発生しており、誰もが被害者になる可能性がある。また、最近の報道によると、イスラマバード市内居住の外国人駐在員女性が自宅の警備に従事している警備員に寝室に押し入れられ、性的暴行を受けた事件が発生している。当地では、「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち、決して油断することなく、細心の注意を払うことが重要である。

エ サイバー犯罪

パキスタン連邦捜査局（FIA）サイバー犯罪部門は、SNSを通じた詐欺投資話、違法な資金取引、児童ポルノのアップロード等、サイバー領域における監視を強化している。FIAでは、違法な手段で入手した資金がマフィアの活動資金となっているとして、摘発を強化している。

オ プロの物乞い

イスラマバード首都圏では、マフィアの支配下にある物乞いが問題となっており、イスラマバード警察では摘発に力を入れている。道路上での物乞いを装って、拳銃強盗を働くケースも報告されている。物乞いに窓を開けて対応する等、不注意な行動は犯罪者に隙を与えるため、慎む必要がある。

カ 宗教上の禁忌に対する反応

2021年12月3日、パンジャーブ州シアルコートの工場において、スリランカ人マネージャーをパキスタン人従業員が撲殺し、その遺体を路上で放火する事件が発生した。事件の発端は、宗教的禁忌（預言者ムハンマドに対する冒瀆）に起因しており、激高した多くの従業員が暴徒化した。宗教上の禁忌に十分な注意を払い行動する必要がある。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

今期、日本人が対象となる誘拐事件は発生しなかった。

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件が頻繁に発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースの他、犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な労力・時間を要すると共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。

また、女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

今期においては発生していないものの近年に以下の邦人被害を含む事案が発生している。

(1) 邦人被害について

2024年4月19日、カラチ市内コーランギー地区において、邦人複数人が乗車する車列が襲撃される事件が発生し、邦人1人が負傷したほか、攻撃に参加したテロリスト2人及び警備員1人が死亡、警備員1人及び通行人1人の計2人が負傷した。

(2) 外国人被害について

ア 2020年12月15日、カラチ市南地区において中国人の車両にリモート爆弾が設置されたが不発だった。この中国人はレストランを所有している。同人がクリフトン地区のショッピングモールから帰宅していたところ、オ

ートバイに乗車した2人の男が中国人車両に接触した後に逃走した。その際に爆発物が磁石で取り付けられた。

イ 2021年4月、クエッタにおいて駐パキスタン中国大使が滞在していたホテルに対するテロが発生した。さらに、同年7月14日には、KP州のダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらが乗る中国企業のシャトルバスが建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人及びパキスタン人十数人が死亡し、数人が負傷した。

ウ 2021年8月20日、バロチスタン州グワダル市においてCPEC関連事業に従事する中国人技術者を狙った自爆テロが発生し、中国人及びパキスタン人9人が死亡、複数の負傷者が出た。

エ 2022年4月26日午後、シンド州カラチ市のカラチ大学に隣接する孔子学院前で自爆テロが発生し、中国人教員3人を含む4人が死亡、2人が負傷した。

オ 2022年9月28日午後、カラチ市サダル地区にある歯科医院内で殺害事件が発生し、中国人1人が射殺され、2人が負傷した。

カ 2024年3月26日、KP州においてダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらを乗せた車両が建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人5人とパキスタン人1人が死亡した。

キ 2024年9月22日、KP州スワート郡で、12か国の外交官を含む代表団が、イスラマバードに戻る途中でIEDによる攻撃を受けた。外交官らは無事イスラマバードに戻ったが、車列を警護していた警察車両に乗車の警察官1人が死亡し、ほか5人が負傷した。

ク 2024年10月6日、カラチ市ジンナー国際空港近傍において、中国人技術者らを狙った自爆テロが発生し、中国人2人及びパキスタン人1人が死亡、複数の負傷者が出た。

(3) 総論

当地においては、活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報をせず）入域した場合には、現地治安当局による安全対策がなされないばかりか、速やかな退去を命ぜられ、また犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続を行うことが必要である。

なお、手続を行ったにもかかわらず、政府からの入域許可が得られない場合には、安全上の問題が生じる可能性があるため、当該地域への入域は控えることが望ましい。

5 2024年4月から2025年6月までのテロ発生状況

2024年

4月	34件、死者	47人、負傷者	32人
5月	36件、死者	35人、負傷者	57人
6月	27件、死者	32人、負傷者	36人
7月	38件、死者	61人、負傷者	44人
8月	59件、死者	84人、負傷者	166人
9月	45件、死者	54人、負傷者	117人
10月	48件、死者	100人、負傷者	80人
11月	61件、死者	169人、負傷者	225人
12月	44件、死者	63人、負傷者	74人

2025年

1月	56件、死者	70人、負傷者	109人
2月	54件、死者	121人、負傷者	103人
3月	94件、死者	207人、負傷者	229人
4月	40件、死者	47人、負傷者	77人
5月	46件、死者	70人、負傷者	111人
6月	63件、死者	72人、負傷者	95人

(出典：パキスタン平和研究所「PIPS」)

6 安全を考える上で参考となる事件等 (報道ベース)

4月分

- 1日、アーザード・ジャンムー・カシミールのテトリノート・マンダルプール・セクターにある管理ライン(LoC)沿いで軍がパトロールをしていたところ、古い爆発物が爆発し、兵士1人が死亡、2人が負傷した。
- 1日、LoCでパキスタン軍とインド軍が交戦し、2025年初の停戦違反が発生した。午後2時頃インド軍はLoC越しに挑発的な発砲を行ったため、パキスタン軍が応戦したが、午後3時までには銃撃戦は終わった。2021年2月に両国の軍は、2003年11月に署名した合意に基づき、カシミールの係争国境沿いの停戦を順守するというコミットメントを再確認する異例の共同声明を発出した。
- 5日、KP州バンヌー郡ドメールのカーシュプル付近で、政府関係者を含む2人が身元不明の武装集団から発砲を受け負傷した。
- 6日、KP州バンヌー郡タウンシップ・エリアで、武装集団からの攻撃を受け警察官1人が負傷した。
- 6日、KP州ハイバル郡ティラー渓谷マリクディンケル地区で、2日前に同渓谷で行方不明となった2人の遺体が発見された。
- 7日、バロチスタン州カラート郡のメイン・シティ・エリアで、オートバイに乗った身元不明の武装集団に銃撃され、元警察官と民間人男性が死亡した。

同日、同州バルカン郡サマンド・カーン・ゴジの川底から身元不明の3人の遺体が発見された。遺体と共に活動禁止団体の旗等も発見された。

- 7日、KP州ペシャーワル市ドラ・ロードで、身元不明の者らからの発砲を受け、宗教学者が死亡、もう一人が負傷した。
- 7日、シンド州カラチ市コランギで警察テロ対策局（CTD）及びレンジャー部隊はIBOを実施し、TTPのハーフィズ・グル・バハーダル派に所属するテロリスト3人を逮捕した。
- シンド州カラチ市ピッチャー・ロードのリア・マーケットで、同州警察CTDとFIAは標的型作戦を実施し、TTPに所属するテロリスト1人を逮捕した。
- 8日、バロチスタン州ノシュキ郡カディラバード地区で、身元不明の武装集団からの発砲を受け、休暇中の辺境警備隊（FC）隊員1人が死亡した。
- 8日、バロチスタン州カラン郡のコミッショナー・ハウス付近で手榴弾が爆発し、男性1人が重傷を負った。
- TTPが米国製FGM-148ジャベリンを含む高性能対戦車ミサイルを入手したとの最近の報告を受け、パキстанは深刻な安全保障上の課題に直面している。
- 9日深夜、バロチスタン州クエッタ市サリアブ地区で待ち伏せ攻撃を受け、警察官1人を含む警察官3人が死亡、1人が負傷した。
- 10日、KP州コハート郡郊外のシェイカーン近郊で、手榴弾が暴発して、子ども2人が死亡、2人が負傷した。
- 12日、イランのシスタン・バルチスタン州で、工場で働いていたパンジャブ州出身のパキスタン人労働者8人が身元不明の武装集団によって殺害された。バローチ国民軍（BNA）が犯行声明を発出した。一方、AFP通信は武装組織Jaish al Adl（正義の軍）も本事案に関与したと報じた。2024年1月にもイランの同州で身元不明の襲撃者によりパンジャブ州出身のパキスタン人9人が射殺された。
- 13日深夜、バロチスタン州クエッタ市郊外のカチ・ベグ地区で、身元不明のオートバイに乗りらが警察署に手榴弾を投げつけ、通行人1人が負傷した。
- 12日、KP州南ワジリスタン郡南部トイ・クラTehsilの3つの村で警察官3人の各自宅がミリタントらからの攻撃を受け、警察人2人が拉致された他、銃撃を受けた警察官1人と少女1人が負傷するも、地元民が応戦し、ミリタント3人を殺害、1人を負傷させた。
- 14日、米ワシントン・ポスト紙は、3月11日にバロチスタン州カッチ郡で発生したジャファル・エクスプレス襲撃事案でテロリストらは米軍がアフガニスタンから撤退した際に残された武器を使用した旨報じた。同紙によれば、襲撃現場から米コルト社製のM4A1カービン銃が回収され、そのシリアル番号からアフガニスタンに駐留していた米軍に送られた数十億ドル相当の兵器の一部であることがわかった。

- 14日、KP州バンヌー郡ナミケル地区とバックケル地区の間で、武装集団からの発砲を受け警察官1人が死亡した。

同日、12日に同州南ワジリスタン郡南部トイ・クラTehsilで自宅から拉致された警察官2人の遺体が発見された。

同日、同州タンク郡ワジラバードで、建設中のレスキュー1122（救急サービス）の事務所付近に仕掛けられた爆弾が爆発し、労働者7人が負傷した。
- 14日早朝、バロチスタン州ノシュキ郡ガランゲール地区で、憲兵隊はミリタントらからの検問所への攻撃を阻止し、銃撃戦でテロリスト1人を負傷させた。その直後、同地区でFCの検問所が攻撃を受けたが、FC隊員が反撃して、テロリスト2人を殺害した。しかしFC隊員1人が死亡した。バローチ民族解放運動（BRAS）が2つの攻撃の犯行声明を発出した。
- 15日、バロチスタン州マストゥング郡ダシュト・ロードで、警察バスが爆撃され、同州の辺境警察隊（BC：Balochistan Constabulary）隊員少なくとも3人が死亡、20人が負傷した。警察バスには、同郡ラクパスでのバロチスタン民族党・メンガル派（BNP-M）による座込みの警備のためにBC隊員35人が乗車していた。（翌日の報道によれば、ISKPが犯行声明を発出した。）
- 15日、KP州コハート郡ラワルピンディ・ロードのガムバット付近で、マリク・アサド・カーン元同郡トップ（District Nazim）が身元不明の武装集団に殺害され、同行者1人が負傷した。同人は、2007年1月に同州ペシャール市キッサ・カーニ付近で発生した自爆攻撃で死亡した警察官の兄弟だった。

同州バンヌー郡で、カショ警察検問所がテロリスト20～25人に襲撃され、警察は応戦したものの、犯人らは逃走し、警察官1人が負傷した。
- 15日、バロチスタン州コフル郡カハンTehsilで地雷が爆発し、1人が死亡した。
- 15日にバロチスタン州マストゥング郡で警察官3人が死亡した警察バス爆撃事案に関し、ISKPが犯行声明を発出した。
- 16日、バロチスタン州ケチ郡ブレダ及びクズダール郡ナールそれぞれで、銃で撃たれた2人の遺体が発見された。クズダール郡で発見された遺体は、バロチスタン民族党（BNP）同郡副支部長の息子であった。
- 17日、KP州クーラム郡サルサラング地区で通行人1人が誤って地雷を踏み、死亡した。
- 18日、KP州クーラム郡州デラ・イスマイル・カーン郡ムサザイ・アダ付近で、警察官等が乗車する車両が身元不明の者らからの銃撃を受け、警察官を含む2人が死亡した。
- 18日、KP州クーラム郡南部バガン地区で、パラチナールからペシャールへ向かう集団が身元不明の者らに襲撃され、少なくとも3人が死亡、数人が行方不明となった。これを受け、地域全域で抗議活動が行われた。
- KP州北ワジリスタン郡で、同州議会議員で元州大臣のイクバル・ワジールのゲストハウスが身元不明の武装集団に放火され、建物は完全に焼失し

た。警察によれば、負傷者は出ておらず、建物からの避難は迅速に行われた。

- 18日、シンド州カラチ市サダル・モバイル・マーケット付近で、ラバイク運動（TLP）の活動家約400人が、アフマディーヤの金曜礼拝を妨害しようと礼拝所を襲撃し、アフマディーヤ信者の男性1人に対して集団暴行を行い殺害した。
- 18日、バロチスタン州クエッタ市郊外のハザール・ガンジ地区で、少年が遊んでいた際に地雷と思われる爆発物が爆発し、負傷した。
- 18日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡のチョードワン警察署管内で、警察が身元不明の者らからの待ち伏せ攻撃を受け、警察官1人が死亡した。
- 20日、KP州ラッキー・マルワット郡ラワングケル地区で、FC隊員1人が身元不明の者らに射殺された。
- 21日、南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilカロシャ地区で、ポリオチームの警護に当たっていたアザム・ワルサック警察の警察官らが襲撃を受け警察官1人が死亡するも、銃撃戦でテロリスト1人を殺害した。通行人1人が負傷した。
- 本年1月から4月17日までKP州ではテロ攻撃が245件報告され、警察官41人、法執行機関職員66人及び民間人58人が死亡しており、ここ数年で最悪のテロの波に直面している。
- 23日、バロチスタン州マストゥング郡テリ地区でポリオ・チームの警護に当たっていた憲兵隊員らが身元不明の者らから銃撃を受け、憲兵隊員2人が死亡した。本件を受け、憲兵隊、警察CTD及びFCは犯人らを追跡するための捜索作戦を開始し、2人を逮捕した。
- 24日、バロチスタン州カラート郡カプートゥ地区で道路脇に仕掛けられたIEDが爆発し、ピックアップトラックに乗車していたJUI-F地元指導者及び女性2人が死亡、5人が負傷した。当局によれば、犯人は治安部隊を標的としていたが、ピックアップトラックがIEDに衝突したと見られる。
- 24日、KP州ラッキー・マルワット郡ダラ・ペズ地区で、交通警察の車両がテロリストからの待ち伏せ攻撃を受け、警察官2人が負傷した。警察が応戦したが、犯人らは逃走した。
- 25日、バロチスタン州クエッタから北東160キロに位置するMargot石炭鉱山地域でFCが地雷撤去作業を行っていたところ、IEDが爆発し、FC隊員4人が死亡し3人が負傷した。
- 25～26日と26～27日の夜、治安部隊は、KP州北ワジリスタン郡のアフ・パク国境付近で越境侵入を試みるテロリスト集団を発見し、テロリスト54人を殺害した。これは、治安部隊が1つの戦闘で殺害したテロリスト数の最多記録となる。
- 27日、バロチスタン州グワダル郡Pasniの沿岸部にある町で、車両を狙ったIEDによる攻撃が発生し、車内の警備員2人が死亡、民間人1人が負傷した。

- 28日、KP州南ワジリスタン郡ワナTehsilのルスタム市場にある平和委員会の事務所でジルガを開催していた最中に外でIEDが爆発し、同委員会の委員長を含む7人が死亡、21人が負傷した。
- 29日、KP州バジョール郡ローウィ・マーモンドのBara Laghari地区で、発射場所が不明な迫撃砲弾が家屋に命中し、子ども4人が負傷した。
- 4月30日、警察当局によると、正体不明の武装集団が深夜にKP州バンヌー郡のKot Adil近郊のSaddar警察署の警察官を襲撃したことで銃撃戦になり、テロリスト1人が死亡、警察官2人が負傷した。同日、チャルサダ郡でオートバイに乗った正体不明のテロリストらから銃撃され、警察官1人が死亡した。
- 4月30日、KP州南ワジリスタン郡南部Birmal TehsilのAzam Warsak地区でIEDが爆発し、子ども1人が死傷、1人が負傷した。
- 4月29日、KP州ペシャワール郡のAdezai村で、元警察官1人が礼拝からの帰宅途中に武装勢力に襲撃され、死亡した。

5月分

- 5月1日の朝、KP州南ワジリスタン郡ラダ（Ladha）のAsman Manza地区で、FC隊員が武装勢力の発砲を受けて死亡した。
- 5月1日夜中に、KP州バンヌー郡のSpeena Tangi Chashmi地区で、テロ対策局の警察官とテロリストによる銃撃戦が発生し、警察官3人が死亡、2人が負傷、またテロリスト2人が死亡した。
- 3日、KP州ラッキー・マルワット郡Shah Toora地区の警察署への攻撃を計画していたテロリストと警察との間で銃撃戦が起こり、テロリスト2人が射殺された。
- 5日、バロチスタン州グワダル郡ジワニで、沿岸警備隊員2人がパトロール車両を標的とした遠隔操作爆弾により負傷した。
- 4日及び5日にバロチスタン州クエッタで発生した複数の戦闘で、治安部隊員1人が死亡、テロリスト8人が死亡した。
- 5日、KP州バンヌー郡Mamesh Khelで何者かに銃撃され、警察官1人が死亡した。
- 6日、バロチスタン州カチ郡マチ（Mach）で、治安部隊員7人が乗った車両がIEDにより攻撃され、同7人が死亡した。ISPRは声明で、BLAのテロリストによる犯行だと述べた。
- 6日、KP州バンヌー郡のMiryan Roadでテロリストにより銃撃され、警察官1人が死亡した。
- 6日、バロチスタン州マストゥング郡Killi Hazar Khan近郊のTeri Roadで何者かにより銃撃され、女性を含む3人が死亡した。
- 7日、KP州ペシャワールのHassan khel警察署管轄内で発生した正体不明のテロリストによる銃撃事件で、テロ対策部門の職員1人が死亡した。
- 8日、KP州南ワジリスタン郡南部のBirmal Tehsilで、警察車両が何者かによる攻撃を受け、警察官1人が負傷した。

- 9日、バロチスタン州で銃乱射事件が相次ぎ、クエッタ、Kharan郡、Surab郡、(Lasbela郡) Uthalの各地で少なくとも6人が死亡、7人が負傷した。
- 9日朝、KP州ティラー渓谷マイダン地区で、住宅に迫撃砲弾が住宅に着弾し、女性1人が死亡した。
- 11日、ペシャワールの環状道路で警察車両を標的とした自爆攻撃が発生し、警察官2人が死亡、1人が負傷した。
- 11日、KP州ラッキー・マルワットにて村人3人が拉致された事件をきっかけに、警察とテロリストの間で激しい銃撃戦が行われ、テロリスト2人が死亡、3人が負傷した。
- 11日、KP州北ワジリスタン郡ミラリ地区の異なる2か所で治安部隊の車列が同地域をパトロールしていたところ、何者かにより襲撃を受け、治安部隊員7人が負傷した。
- 11日、バロチスタン州グワダル郡の住宅街で発生した手榴弾攻撃で3人が負傷した後、警察との銃撃戦で攻撃者1人が死亡、もう1人が負傷した状態で逮捕された。
- 12日、KP州バンヌー郡Surani Sikandakhel Bala地区で道路沿いのIEDが爆発し、男子学生3人が負傷した。
- 13日、バロチスタン州当局は、KP州から拉致され銃弾を受けたトラック運転手4人が、バロチスタン州ノシュキ郡Galangoor地区で遺体で発見されたと発表した。
- 13日、KP州北ワジリスタン郡ミラリ地区Chota Dattakhel村で、正体不明の襲撃者が車両に発砲し、部族の長老4人が死亡、1人が重傷を負った。
- 14日、バロチスタン州クエッタで開催されていたPPPの政治集会会場付近で手榴弾が投げ込まれ、PPP党员1人と男性1人が死亡、10人が負傷した。
- 14日、KP州バンヌー郡Miryan地区で警察とテロリスト間で銃撃戦が発生し、テロリスト2人が死亡、3人が負傷した。
- 15日、KP州スワビ郡Gadoon Amazai地区の山岳地帯にあるUtla警察署がテロリストとみられる集団の攻撃を受け、警察官3人が負傷した。
- 16日夜、バロチスタン州クズダル郡Nasl地区で武装勢力が憲兵隊検問所を襲撃し、憲兵隊4人が死亡した。
- ISKPは16日に発行した同組織の週刊機関誌「アル＝ナバ」で、5月11日にKP州ラッキー・マルワット郡で警察官2人を死亡させ3人負傷させた自爆テロの犯行声明を出した。
- 16日、パンジャーブ州サルゴダ郡のファーティマ病院内で、著名医師のシェイク・アフマド・マフムードが標的型攻撃と思われる銃撃されて死亡した。同人は、少数派宗教のアフマディーヤ信者であった。
- 17日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバットのFCの拠点に武装勢力が発砲し、治安部隊との銃撃戦の結果、武装勢力2人が死亡した。
- 17日、警察CTDは、KP州におけるテロ事件に関する報告書を発表し、今年

に入って同州で284件のテロ事件が発生したことを明らかにした。同報告書によると、北ワジリスタン郡で最多の53件の事件が発生した。

- 18日、バロチスタン州キラ・アブドゥッラー郡Gulistan地区のFC駐屯地に隣接する商業市場でIEDが爆発し、少なくとも4人が死亡、20人が負傷した。
- 18日、KP州ラッキー・マルワット郡の村を50人を超える武装勢力が襲撃し、平和委員会及び地元住民との銃撃戦の後、同委員会のメンバー1人が死亡した。
- 18日、バロチスタン州チャマン郡Gulistan地区で遠隔操作爆弾が爆発し、3人が負傷した。
- 19日、KP州北ワジリスタン郡Mir Ali地区で、クアッドコプターによる爆発物投下と疑われる事件が発生し、子ども4人が死亡、女性を含む5人が負傷した。
- 21日、バロチスタン州クズダール郡近郊のクエッタ＝カラチ高速道路のゼロ・ポイントで、陸軍パブリック・スクール（APS）に向かうスクールバスを標的とした爆弾攻撃が発生し、少なくとも学生3人を含む6人が死亡、40人以上が負傷した。政府の声明では、同事件はインドによる支援を受けた代理組織によって実行されたと主張された。
- 21日、KP州バンヌー郡New Sabzi Mandi地区にある警察署をテロリストが攻撃し、その後の銃撃戦で警察官2人が死亡した。
- 22日に英国を拠点とするNGO「Action on Armed Violence」が発表した報告書によると、パキスタンは2024年に爆発性兵器による民間人被害が最も深刻な国ランキングで7位に入り、同年に発生した248件の事件において790人の民間人被害者と210人の死者が記録された。
- 23日、KP州ハイバル郡ティラー溪谷で、2日前に武装勢力により誘拐された地元部族の若者3人が射殺され、遺体で発見された。
- 22日夜、KP州バンヌー郡Fatekhel地区で、テロリスト集団が警察署を襲撃して発生した銃撃戦で、警察官1人が負傷した。
- 23日、バロチスタン州の地元当局は、同州クズダール郡で発生したスクールバス襲撃事件の死者数が計10人に達したことを確認した。
- 24日、KP州ローワー南ワジリスタン郡Shakai地区の2つの場所でそれぞれIEDが爆発し、民間人1人が死亡、FC1人が負傷した。
- 24日、インド国境警備隊は、パキスタン側から印パ国境を越えて侵入し、警告に応じなかったとしてパキスタン男性1人を射殺したと発表した。
- ISPRは、KP州の複数地点で24日及び25日にIBOを実施し、デラ・イスマイル・カーン郡、タンク郡及びハイバル郡でインドが支援するテロリスト9人を殺害したと発表した。
- 26日、警察及びレスキュー1122（救急サービス）は、先日KP州バジョール郡サラルザイTehsilコヒ地区で身元不明の者らにより若者2人が射殺された旨を発表した。

- 27日夕方、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマールTehsilで、クアッドコプターと思われるものが爆弾を投下し、子どもや若者を含む民間人22人が負傷した。
- 27日、バロチスタン州ノシュキ郡キリ・ムハンマド・ハスニ地区で、ポリオ・ワクチン接種チームを警護していた警察官1人が身元不明の襲撃者らからの銃撃を受け、死亡した。
- 警察情報筋によれば、28日、アーザード・ジャンムー・カシミール(AJK) プーンチ郡ラワルコート郊外フサインコート村で、警察との激しい銃撃戦が発生し同地に潜伏していたテロリスト4人が死亡、警察官2人が死亡及びその他5人が負傷した。
- 28～29日夜、KP州北ワジリスタン郡シャワル地区で、インドが支援するTTPのミリタントらが検問所への攻撃を試みるも、治安部隊が阻止し、テロリスト6人を殺害した。銃撃戦で士官1人を含む治安部隊隊員4人が死亡した。
同州チトラール郡で発生した別の事件で、インドが支援するテロリスト1人が死亡した。また、同州バンヌー郡ランディダク地区でミリタントの一団が警察及び村人を襲撃し、衝突により警察官1人が死亡、警察官と教師が負傷した。
同州グワダル郡ジワニにあるイラン国境付近の検問所が身元不明の武装集団からの攻撃を受け、沿岸警備隊員2人が死亡した。
- 29日夕方、KP州南ワジリスタン郡南部ワナTehsilダザ・グンダイ地区で、警察官1人が自宅前で身元不明の武装集団に射殺された。
- 30日、バロチスタン州スラブ郡スラブで、ミリタントらが警察署を含む政府庁舎数棟及び銀行を襲撃し、同郡職員1人が殺害された。BLAが犯行声明を出した。
- 31日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡スイTehsilで、憲兵隊隊員1人が武装集団からの銃撃を受け死亡した。
同日、同州クエッタ市郊外ナワン・キリ地区の道路脇に仕掛けられたIEDが爆発し、2人が死亡、9人が負傷した。
- 31日、パキスタン内務省は、全ての機関にバロチスタン州で活動するBLA等の武装組織を「Fitna al Hindustan」（邪悪なインドの意）と呼ぶように命じ、インドがこれらの武装組織を通して代理戦争を扇動していると非難した。

6月分

- パキスタン紛争安全保障研究所（PICSS）による月次治安報告書によれば、5月のミリタントによる攻撃は85件を記録し（前4月は81件で5%増加）、113人（うち治安要員が52人で73%増加）が死亡、182人（うち民間人が130人で145%増加、一方、治安要員は47人で20%減少）が負傷した。
- 1日深夜、バロチスタン州クエッタ市ウエスタン・バイパスのブリュベリー・ロード沿いのバスターミナルで、車両のドアに磁石で取り付けられてい

た爆弾が爆発し、1人が死亡、4人が負傷した。

- 1日、KP州コハート郡ダラ・アダムケルTehsilアコールワル地区の住宅内で不審な爆発が発生し、部族民2人が死亡した。
- 2日、バロチスタン州クエッタ市イースタン・バイパス地区バクラ・マンディ付近で身元不明の者らが手榴弾で警察車両を攻撃し、警察官3人を含む6人が負傷した。
- 1日夕方、KP州南ワジリスタン郡北部シャワルTehsilラジン村で、13歳の少女が遊んでいた際に誤って地雷を踏み、死亡した。
- 2日、KP州バンヌー郡のバンヌー・マンダン・ロード沿いで、通勤中の警察官1人が身元不明の武装集団によって射殺された。
- 2日夜、KP州バジョール郡マムンドTehsilラガリ地区で警察署がテロリストの集団に襲撃され、警察官4人が負傷した。
- 4日、バロチスタン州ケチ郡カレンカン地区で、同郡タンプTehsilからクエッタ市に向かって同Tehsil長が身元不明の者らによって誘拐された。バローチ解放戦線（BLF）が犯行声明を出した。
- 4日深夜、KP州ハイバル郡ティラー溪谷で、TTPの司令官1人が、地元部族バル・カンバルケルが組織した武装部隊（Lakshar）によって殺害された。
- 5日夜、KP州バジョール郡カル・タウンで、同郡保健担当官の自宅正門付近に仕掛けられたIEDが爆発し、同保健担当官の父親が死亡した。
- 9日、バロチスタン州ケチ郡ザムラン地区の道路脇に設置されたIEDが爆発し、イードの礼拝に向かっていた部族長老（同州大臣の近親者）とその息子が死亡、もう一人の息子と親戚1人が負傷した。
- 9日、KP州ラッキー・マルワット郡コート・カシミール地区で、平和委員会の武装したボランティアからの支援を受けた警察部隊とテロリストとの間で銃撃戦が発生し、テロリスト3人が死亡、警察官1人が死亡した。
- 10日夜、KP州バンヌー郡ゴリワラ・タウンで、警察官1人が身元不明の武装したオートバイ乗りらからの銃撃を受け、死亡した。
11日、同州ラッキー・マルワット郡ワンダ・パインダ・カーン地区で、FC隊員1人が自宅付近で身元不明のテロリストらに襲撃され、死亡した。
- 12日、KP州バジョール郡サラルザイTehsilタラヌー村で、アフガニスタンのクナール県から発射された迫撃砲弾が地元民の住宅に着弾し、男性1人が死亡、女性2人が負傷した。
- 14日、KP州バジョール郡カルTehsilシャー・ナレイ地区にあるムバラク・ゼーブ・カーン部族問題担当首相特別補佐官（下院議員）の住宅が、身元不明の者らによるロケット弾攻撃を受け、正門と境界壁の一部が損傷した（家族は無事だった）。5月14日にも同首相特別補佐官の住宅は襲撃された。
13日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ラッキー市マリカバード地区で、警察官1人が身元不明の武装集団により自宅から拉致された後、殺害された。
- 15日夜、KP州南ワジリスタン郡北部ラダTehsilで、FC隊員1人が武装集団

からの銃撃を受け死亡した。

14日夜、同州オラクザイ郡ギルジョ地区で、検問所が身元不明のテロリストらに襲撃され警察官1人が死亡した。

- 15日夜、バロチスタン州デラ・ブグティ郡スイのトゥータ・コロニーで、パトロール中の警察車両が身元不明の武装集団からの発砲を受け、警察官2人が死亡、警察官2人及び通行人3人が負傷した。
- 16日、同州ラッキー・マルワット郡ラッキーダラ・タング・ロードで兵士が乗った車両がIEDの標的となり、兵士6人が負傷した。
- 16日、バロチスタン州バルカン郡ラカニ地区のマーケットで、身元不明の者らがオートバイに仕掛けたIEDが爆発し、2人が死亡、15人が負傷した。
同日、同州カッチ郡アービグムーマチ間の線路が身元不明の武装集団により爆破され、鉄道の運行が停止したほか、鉄道職員1人が負傷した。
- 15日夕方、KP州バジョール郡ウタムケルTehsilで警察官1人が身元不明の者らにより射殺された。
- 16日夜、KP州南ワジリスタン郡でパトロール部隊がテロリストらからの攻撃を受け、FC隊員1人が死亡した。
- 18日、シンド州ジャコババード郡で線路に設置された遠隔操作式爆発装置が爆発し、クエッタ行きジャファル・エクスプレスの車両4両が脱線した。負傷者はいなかった。活動禁止団体バローチ共和隊（BRG：Baloch Republican Guards。バロチスタン州とシンド州の州境を拠点に活動しているとされる。）が犯行声明を発出した。
- 18日、バロチスタン州ドゥキ郡リース・ロードで武装集団が警察CTD事務所を手榴弾で襲撃し、警察官1人が負傷した。
同日、同州マストゥング郡マストゥングTehsil郊外のスルガズ地区で身元不明の武装集団が車両に発砲し、車内にいた男性1人と女性1人が死亡、女性1人と子ども1人が負傷したほか、同州パンジュグール郡で男性1人が身元不明のオートバイ乗りらに射殺された。
- 18日、KP州オラクザイ郡のガンディ・タル検問所がテロリストらからの襲撃を受け、銃撃戦で警察官1人が死亡した。
- 17日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ワンダ・アミール地区付近のガス・パイプラインが身元不明のテロリストらによって爆破された
16日、同郡パハルケル・パッカ地区で、TTPと地元平和委員会との間で銃撃戦が発生し、翌17日夜、TTPは報復として同平和委員会指導者の自宅の客間を襲撃し、警備員1人が死亡した。
- KP州コハート郡で身元不明の者らが若い男性の首を切断し、遺体を道路沿いに破棄した。
- 20日、KP州南ワジリスタン郡マキーンTehsilで、クアッドコプターまたはドローンと見られる機体の攻撃を受け、子供1人が死亡、5人が負傷した。18日夕方にも、同郡ラダTehsilで、同郡本部を狙った同様の攻撃が発生し、同郡関係者の住居が一部損壊した（死傷者の報告はなし）。

- 20日深夜、KP州スワビ郡で身元不明のオートバイ乗りらからの発砲を受け警察官2人が死亡した。

21日、同州マルダン郡カトラングTehsilバブザイ地区で、軍人2人を含む4人の遺体が発見された。警察と警察CTDの予備調査によれば、アブドゥル・ハミード・ハマシ司令官率いるミリタントらによって殺害された。

21日、同州デラ・イスマイル・カーン郡で、警察はTTPガンダプール派のテロリスト司令官を殺害した。

21日、バロチスタン州カラート郡マンゴチャルTehsilのシェイク・ハジ検問所付近で、爆弾処理犯が地雷除去作業を行っていたところ、IEDが爆発し、FC隊員2人が死亡、4人が負傷した。また、同郡で身元不明の武装集団により警察CTD職員1人が射殺された。

21日、同州マストゥング郡で、身元不明の武装集団により警察官1人を含む2人が射殺された。
- 21日午後、KP州クーラム郡中央部のトールガル地区で、迫撃砲弾が着弾し、4人が死亡した。
- 22日、バロチスタン州クズダール郡アランジ地区で、部族の有力な長老で元同州選挙管理内閣首席大臣の息子であるアタウル・ラフマーン・メンガルが身元不明の武装集団に襲撃され死亡、その息子が負傷した。
- 22日、バロチスタン州マストゥング郡カドコチャ地区及びキルドガブ地区で、身元不明の武装集団が複数の政府機関に放火し、憲兵隊検問所を襲撃し、クエッター-カラチ間の高速道路を封鎖した。
- 22日、KP州カラク郡の山岳地帯で、警察は治安要員1人の遺体を発見した。
- 23日、BLAは、前22日にバロチスタン州クズダール郡アランジ地区で発生したアタウル・ラフマーン・メンガル及びその同僚の殺害に関する犯行声明を発出した。
- 24日、KP州クーラム郡マルダン地区でテロリストらからの襲撃により治安要員5人が死亡、4人が負傷した。
- KP州バジョール郡ワル・マムンドTehsilで、身元不明の者らからの銃撃を受け警察官1人が死亡した。
- 25日、KP州クーラム郡ペワル・シャラムケル地区で地雷が爆発し、4人が死亡した。
- 25日朝、KP州デラ・イスマイル・カーン郡のハタラ警察署付近で、タンク郡へ向かっていた政府職員3人が身元不明の者らに拉致された事件を受け、警察は直ちに救出作戦を開始し、3人を救出した（うち1人は酷暑と窒息により死亡）。
- 25日、パンジャーブ州警察CTDは、トバ・テク・シン郡で「ヤルガール作戦」を実施し、印諜報機関の調査分析局（RAW）の支援者とみられる6人を逮捕し、RAWとその現地支援者によって運営されていた高度なネットワークを解体した旨発表した。6人らは、モスクとバハワールプール駅で爆破を実行

する予定であったほか、RAW職員から標的殺害、印国境警備隊（BSF）のゲートからのIEDの回収及び国境通過に関する指示の伝達等いくつかの任務が与えられていた。

- バロチスタン州グワダル郡ジワニで検問所が身元不明の者らから襲撃され、FC隊員1人が死亡、1人が負傷した。
同州マストゥング郡のクエッター-カラチ国道で、カラチへ鉱物を輸送していたトラック4台が身元不明の武装集団からの発砲を受けた。また、同国道で、鉱物を積んだトラック3台も銃撃を受けた。ドライバーらに被害はなかった。
- 26日夜、KP州ラッキー・マルワット郡ジャバルケル地区付近で、身元不明のテロリストらによって仕掛けられたIEDが爆発し、ガス・パイプラインが爆破された。同郡では過去10日間で2度目となるガス・パイプライン爆破事件だった。
27日、同郡カイチ・カマル地区で迫撃砲による攻撃があり、子ども5人を含む11人が負傷した。警察と治安部隊は、同郡ダラ・ペズ地区の山岳地帯とタンク・ロード沿いで捜索・掃討作戦を実施し、複数人を逮捕した。
- 27日、クエッタ警察は、2024年11月15日に身代金目的で誘拐された14歳の学生の遺体をバロチスタン州マストゥング郡マロ・イスプリンジ地区で回収した旨発表した。アフガン人が誘拐に関与しており、彼らが地元の共犯者の助けを借りて少年を誘拐し、後にISKPに引き渡した。ISKPは少年の父親に1200万ドルの身代金を要求した。
- 28日、KP州北ワジリスタン郡ミール・アリTehsilカディケル地区で、爆発物を積んだ車両が治安部隊の耐地雷・伏撃防護（MRAP）車両を標的とし、治安要員13人が死亡、10人が負傷した（地元情報筋によれば民間人14人が負傷）。ISPRによれば、この攻撃はインドが計画・指揮し、TTPによって実行された。攻撃後、治安部隊は掃討作戦を実施し、ミリタント14人を殺害した。ハーフィズ・グル・バハーダル・ネットワークとつながりのあるアスーダル・ハルブ（Asood-al-Harb）が犯行声明を発出した。
同日、同郡グラム・カーンTehsilサイドガイ地区で、オートバイに乗った自爆テロ犯が治安部隊の車列を襲撃し、治安要員6人が負傷した。
同日、同州ペシャワール市シャープール地区で、身元不明のオートバイ乗りらからの銃撃を受け警察官1人が死亡した。
- 28日、KP州ローワーディール郡カール・バザールのスクラップ店で、スクラップの中に隠されていた爆発物が爆発し、2人が死亡、5人が負傷した。
- 29日、KP州ラッキー・マルワット郡ワンダ・シーモ地区で、テロリストらが仕掛けたIEDが爆発し、治安要員3人が死亡、2人が負傷した。
同日、同州ペシャワール市郊外のシャムシャト地区で、警察CTDはIBOを実施し、TTP所属の自爆テロ犯を含むテロリスト2人を殺害した。
- 28日夜、KP州ラッキー・マルワット郡クーラム・パル地区ワンダ・タルカナン付近で、身元不明のテロリストらにより地元平和委員会の委員長を含む

3人が殺害された。

(以上)